



# 奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター（奈良県保健研究センター内） *Nara IDSC*

## 今週の概要

- 第 28 週の感染症情報
- 月報告対象感染症(性感染症・薬剤耐性菌感染症)発生状況（6 月月報）

## 第 28 週の感染症情報（7 月 8 日(月)～7 月 14 日(日)）

奈良県および医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

順位	疾患	定点当たり	奈良県	北部	中部	南部
1	手足口病	5.74	↑↑	↑↑	↑	↑
2	感染性胃腸炎	2.21	→	→～↓	→	↓
3	ヘルパンギーナ	1.15	↑	↑	↑	↑
4	A 群溶連菌咽頭炎	0.71	→	→	→	↓
5	水痘	0.56	→	→	→～↓	→～↑

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

**県北部地区概況** 報告数（27→28週）は154→185例に増加した。上位5疾患は①手足口病（64→95例）（定点あたり5.59と警報基準5を超えた。）、②感染性胃腸炎（21→30例）、③ヘルパンギーナ（22→21例）、④A群溶連菌咽頭炎（11→14例）、⑤水痘（10→10例）。眼科定点の報告は流行性角結膜炎が1例あった。基幹定点の報告はなかった。（有山 記）

**県北部外来状況** 感染症は少ない状態が続いている。保育園児を中心に手足口病が流行している。発熱はあっても1日程度で、発疹は多いが小さいものが多い。ヘルパンギーナは現段階では少ないプール熱（咽頭結膜熱）は減少している。風疹も少なくなった。（矢追 記）

**県中部地区概況** 報告数は166例で、前週報告の143例から増加。上位5疾患は、①手足口病、②感染性胃腸炎、③A群溶連菌咽頭炎、④ヘルパンギーナ、⑤水痘の順で、手足口病の定点当たりの報告数は6.14と前週(5.21)より流行発生警報継続中であった。手足口病の報告数（86例）は、増加。感染性胃腸炎の報告数（42例）は、増加。A

群溶連菌咽頭炎の報告数（5→10例）は、再度増加の兆し。水痘の報告数（8例）は、ほぼ横ばい。ヘルパンギーナの報告数（9例）は、やや減少。桜井HC および葛城HC 両管内眼科定点から、流行性角結膜炎が各々2例ずつ計4例報告されたが、両管内基幹定点からの報告は共になかった。（村井 記）

**県中部外来状況** 外来数はそう多くない。手足口病の流行の他、短期の高熱と咽頭発赤の夏風邪のパターン。ヘルパンギーナは少ない。四肢の発疹（丘疹）を伴う例もある。感染性胃腸炎も少しずつ流行。その他水痘、A群溶連菌感染症が僅かずつ続いている。風疹は小児には少ない。（岡本 記）

**県南部地区概況** 報告数（27→28週）は27→29例と推移。報告のあった疾患は、①手足口病（15→14例）、②ヘルパンギーナ（8→9例）、③感染性胃腸炎（1→3例）、④咽頭結膜熱（0→1例）、④水痘（1→1例）、④無菌性髄膜炎【基幹定点】（0→1例）であった。（柳生 記）

**県南部外来状況** 幼児～小学校低学年で夏風邪が増加。高熱が1、2日に加え、咽頭痛や頭痛、軽度の消化器症状も伴う。手足口病の一部には、数日間の高熱のあと四肢末端に皮膚剥離もみられた。また、有熱期に異常行動（笑い出す）のみられた例もあった。（寺田 記）

## 警報

～県全体で手足口病が流行しています～

**警報レベル** 奈良市内、桜井保健所管内、葛城保健所管内、吉野保健所管内

**警報レベルの一步前** 郡山保健所管内、内吉野保健所管内

（警報レベルは、疾患毎に定められています）



☆大流行した平成23年と同様に、コクサッキーウイルスA6が流行していると言われています。  
☆本県では、手足口病患者からエンテロウイルス71を検出しています。今後も検査を継続しますので、病原体定点の先生方のご協力をお願いします。

☆予防は、患者に近づかない、手洗いの励行など。患者や回復者は、特に排便後の手洗いが重要。

感染症情報センターホームページ  
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm>

## 【月報告対象感染症（性感染症・薬剤耐性菌感染症）発生状況（6月）】

平成25年6月に、奈良県内の定点医療機関より保健所に届出のあった月報告対象感染症の報告数は以下の通りです。

### ・性感染症（STD）患者数（人）

疾病名\報告月	6月		前月（5月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
性器クラミジア感染症	7	0.78	9	1
性器ヘルペスウイルス感染症	5	0.56	3	0.33
尖圭コンジローマ	1	0.11	0	0
淋菌感染症	4	0.44	1	0.11

### ・薬剤耐性菌感染症患者数（人）

疾病名\報告月	6月		前月（5月）	
	報告数	定点当たり報告数	報告数	定点当たり報告数
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	25	4.17	32	5.33
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	8	1.33	10	1.67
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0

（感染症情報センター 記）

